

皆川市政 新「鶴岡市総合計画」 旧町村の地域振興に成果目標を設定

第2次鶴岡市総合計画（案）から【基本計画】地域の振興

7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います

- (1) 鶴岡地域 (P115)
 - ア 未来を見すえた住民主体のまちづくりの推進
 - イ 地域の明日を担う人材の確保・育成
- (2) 藤島地域 (P118)
 - ア 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現
 - イ 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進
 - ウ 暮らしやすい”藤島”を実感できる生活基盤の再構築
- (3) 羽黒地域 (P122)
 - ア 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進
 - イ 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進
 - ウ 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進
- (4) 櫛引地域 (P125)
 - ア フルーツの里づくりと地域連携による交流人口の拡大
 - イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進
 - ウ コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進
- (5) 朝日地域 (P129)
 - ア 中山間地域における定住環境の支援
 - イ 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興
 - ウ 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興
- (6) 温海地域 (P132)
 - ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興
 - イ 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大
 - ウ 農林水産資源のブランド化
 - エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

正月

潔身空意禱天神
日夜庶無異患巡
従此人生如幻化
年頭忘我獨諏津

身を清めてわだかまりのない心で、あまつの神に幸福を求めてお祈りをする。いつも不足の災いが襲って来ないことを願うばかりである。人が生きていくということは、幻のようにとらえがたく、年の初めにあたり、無我の心でこれからの道をさがして、心のよりどころを求めらるのだ。

空意Ⅱわだかまりのない心。天神Ⅱあまつかみ。異患Ⅱ変わった災難。幻化Ⅱまぼろしのように変化する。諏津Ⅱ渡し場の明かりをたずねる。転じて人に教えをきく。

正月

身を潔よくして空意 天神に禱る
日夜庶わくは異患の巡り無らんことを
此れ従りの人生 幻化の如し
年頭に我を忘れて独り津を諏う

城貞（藤の花）

（写真：鶴岡市HPから）



鶴岡市総合計画審議会（伊藤真知子会長）において審議が行われてきた「第2次鶴岡市総合計画」（案）が、7日に皆川治鶴岡市長に対して答申が提出されました。

第1次計画は合併3年後の2009（平成21）年1月に策定され、10年が経過しました。この間、東日本大震災など大規模な自然災害や少子高齢化の進行、人口減少の加速化、さらに社会経済のグローバル化など、環境が大

きく変化してきました。総合計画は、社会情勢の変化や課題に的確に対応し、鶴岡市のまちづくりを総合的、計画的に進めていくための指針となるものです。

農業収入1千万円

第2次計画では、「地域の振興」が具体的な施策の成果指標を示して取り組まれます。藤島地域では、農業収入1000万円以上の経営体の割合を現状16・4％から10年後には30％に高めます。

ふじの花に関連するイベントで現状2万1615人の入れ込み人数を3万6800人へ1・7倍にします。羽黒山など観光入れ込み客数を73万7200人から80万人にします。JAアスパラ部会の販売額4000万円を1億2000万円に3倍化をめざします。

櫛引地域では観光果樹園の入れ込み客数を1万8258人から2万4千人に1・3倍化します。黒川能など年間観光入れ込み客数を7万8千人から100万4千人にします。

朝日地域では豪雪や交通面から転出する世帯が増えており、定住化支援策で世帯減少率を抑え、農地保全の仕組みづくりに取り組めます。

温海地域では、越沢三角そばの栽培面積を3倍化などに取り組みます。

鶴岡市総合計画

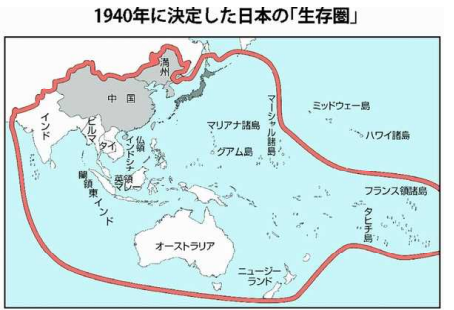
第1次鶴岡市総合計画	～生命いきいき文化都市創造プラン～	2008～2018
めざす都市像	「人 暮らし しぜん みんないきいき 心 やすらぐ文化をつむぐ悠久のまち 鶴岡」	
第2次鶴岡市総合計画	～毎日、おいしい。ここで、暮らしたい～	2019～2028
めざす都市像	「ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡」	

地域の振興 具体的な成果指標（第2次鶴岡市総合計画案）

	項目（測り方）	現状値	成果目標（2028年度）
鶴岡	地域ビジョン策定件数（累計）	4件	20件
	※鶴岡市全体分	(2018年度)	
藤島	人材育成の取組を通じて新たに実施される地域づくりのプロジェクト件数（累計）	12件	88件
		(2018年度)	
	農業収入1,000万円以上の経営体割合	16.4%	30.0%
羽黒	ふじ関連イベント・施設入込数	21,615人	36,800人
		(2017年度)	
	藤島地域の年間人口減少率	△1.9%	△1.5%
榑引	月山・羽黒山の観光入込客数	737,200人	800,000人
		(2017年度)	
	堆肥散布量（羽黒町堆肥利用組合）	1,757t	1,810t
	J A アスパラ部会（羽黒地域）の販売額	4,000万円	1億2,000万円
朝日	地域活動センター利用者数（4地区合計）	41,842人	41,900人
		(2017年度)	
	果樹販売額（JA榑引支所、産直施設）	318,759千円	330,000千円
		(2016年度)	
	榑引地域観光果樹園観光入込客数	18,258人	24,000人
温海	榑引地域の年間観光入込客数（11施設）	748千人	1,004千人
		(2017年度)	
	単位自治組織の地域ビジョン策定数（全21組織・累計）	1組織	10組織
		(2017年度)	
朝日	転出による世帯減少率	△2.3%	△1.5%
		(2017年度)	
	地域内経営耕地面積の確保	843ha	820ha以上
温海	朝日地域への観光入込客数	526千人	530千人
		(2017年度)	
	あつみ温泉及び嵐ヶ関地区観光施設の観光入込客数（道の駅含む）	478千人	820千人
		(2017年度)	
温海	教育旅行受入れ学校数	2校	12校
		(日帰り)	(宿泊6校、日帰り6校)
		(2017年度)	
温海	越沢三角そばの栽培面積	25,160㎡	80,000㎡
	焼畑あつみかぶの販売単価	209円/kg	230円/kg
		(2017年度)	
温海	集落ビジョン策定自治会数	11自治会	27全自治会
		(2018年度)	

だまされては遺憾！ アジア諸国は日本によって 米植民地から解放されたのか

青山 崇



「アジア諸国は日本によって解放され独立国になった」とする考えがある。たしかに最初は、欧米からの解放と独立を強く望んでいたアジアの人々は、日本に大きな期待を持っていた。

しかし期待はたちまちくだかれてしまった。日本軍は、占領地に軍政をしき直接支配し、必要な食糧や石油などを奪い、鉄道建設のために現地の人々「ロームシヤ」（今なおインドネシア語として残る）を強制的に働かせた。また「皇民化」とい、国旗や国歌を禁止し日の丸・君が代を歌わせ、神社を建て参拝

【訂正・再掲】 新春口号

曙光 靨 瑞雲 中
天宇 瞳 瞳 初日 紅
迎此 新正 号 改近
千門 吹 遍 太平 風

曙光 靨 瑞雲 の中
天宇 瞳 瞳 旭日 紅 なり
此に 新正 を 迎え 号 改まる 近し
千門 吹き 遍し 太平 の 風

新春口号

城貞（藤の花）

夜明けの景色は、めでたい雲がたなびき、大空は夜あけがあかるくなり、朝日があかく見える。ここに新年を迎え、間もなく元号が変わる日もちかくなった。世の中が争いのない平和で、何事もなく穏やかに治まる風が吹き渡るようにと祈念をする。

口号 心に思い浮かぶまを吟ず。曙光 夜明けの景色。靨 雲のたなびくさま。瑞雲 めでたいしるしの雲。天宇 大空。瞳 朝日が昇るさま。新正 新年。正月。号 元号。年号。千門 多くの家家。遍 ゆきわたる。太平 世の中が平和なこと。

を強制した。

アジアの人々は、期待していた日本の、欧米よりをなご酷い支配に反対し、抗日運動に立ち上がった。

自由タイ、シンガポール、マレーのマラヤ人民抗日軍、ベトナムのベトミン（ベトナム独立同盟）などの抗日組織をつくり、抗日運動をアジア全域に広げた。

こうした民衆の力に日本は敗北し、アジア諸国は独立国になっていったのである。

こうして20世紀は、



個人が丸裸に

新年あけましておめでとうございます。読者の皆様には、今年も良い年でありますようお願い申し上げます。

▲さて、新年になって恐ろしい記事がありましたよ。たまに個人情報何万件流出、ナンテ報道されますが、それは権力が情報を握っているというものだ。

▲4日の山形新聞のトップ記事は、検察が顧客情報を入手し、私生活露呈の恐れがあると警告していた。私生活の露呈・つまり個人が丸裸ということだ。

▲なぜそうなるかと言えば、ICカードの名義人や使用履歴に加え、カード作成時に提出された運転免許証の写し、顔写真も入手しているとの事。これにドラッグストアやレンタルビデオ店、書店の購入情報を加えれば、個人の

前半は、植民地と戦争の時期であったが、後半は植民地体制が完全に崩壊し、民族自決権が世界の基本原理になった。

私たちはこの世界的流れをも読み、日本がアジアの植民地を解放したなどという間違った考えにだまされてはならない。



南部フランス編インドシナの日本軍・自衛隊部隊＝1941年7月9日（写真報 日本近代の歴史 122 号）

健康状態や思想信条、趣味嗜好も掴むことができるというのだ。

▲これらは、交通各社やクレジット会社、消費者金融、ポイントカード発行会社や携帯電話会社から、「捜査関係事項照会」という名で、警察が集めたものを、検察で保管し、随時更新しているとの報道だ。恐ろしいことだぜ。

▲個人情報保護法35条に規定され、裁判所の許可が必要なのだが、刑事訴訟法に、官公庁や企業などに捜査上必要な事項の報告を求め、この乱用だろうぜ。

▲いつかこの欄に書いたんだが、ある事務所に前にある車のナンバーをパトカーが調べていた。だから車の台帳があるのかも。現役の時、その人の車、しか教えなかったが。▲今はカードの時代だ。私の・あなたの・どこまでが検察に？。（石川）